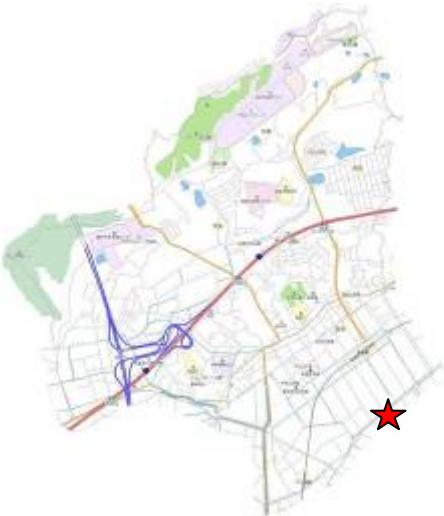


景観データベース I 【歴史】 -006	名称 備前・備中國境標石	めいしょ びぜん びっちゅうこつきょうひょうせき									
場所 早島町 前潟 742	位置図										
写真											
											
<p>概説</p> <p>前潟新田と沖新田の南東に広がる干潟の開発をめぐり、児島湾の境が問題となりました。そして備前・備中との間で約100年にわたり裁判が行われました。その結果、文化13年（1816年）幕府は今ある備中方の新田の堤を国境とし、それより南の干潟と海は備前領とする裁定を下しました。この国境標石は、その後文政4年（1821）に干拓工事の始まりとともに建てられたもので、干拓の歴史を物語るモニュメントの一つです。</p>											
<p>表彰・文化財情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観賞 無 ・文化財 早島町指定重要文化財 ・その他 無 											
<p>資源種別情報</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">・所有者属性</td> <td style="width: 33%;">・所有者名</td> <td style="width: 33%;">・施工者</td> </tr> <tr> <td>・設計者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・時代区分</td> <td>・竣工年</td> <td></td> </tr> </table>			・所有者属性	・所有者名	・施工者	・設計者			・時代区分	・竣工年	
・所有者属性	・所有者名	・施工者									
・設計者											
・時代区分	・竣工年										
<p>訪問・見学対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問 ・時間 ・交通 											